

## 尾道市と消防指令センターを共同運用

市民からの119番通報を受け、消防車と救急車に出動命令を出す消防指令センターを尾道市と共同で運用することとなり、3月26日、両市の間で協定を結びました。

共同の消防指令センターは、尾道消防防災センター(尾道市東尾道)に設置し、来年4月1日に運用を始めます。通報場所を詳しく判別するシステムを導入することにより、消防車や救



▶より高度な消防サービスの体制を整えた共同消防指令センター

急車がより迅速に現場に到着できるようになります。

センターの運用が始まれば、119番通報は一括して受信することになりますが、通報の方法はこれまでと変わりません。消防車や救急車の出動も、各消防本部の消防署からとなります。センターを共同で運用することにより、通報が集中した時の処理能力が向上するほか、両市間での応援が必要となる大規模な災害が発生した時、より適切な出動体制を整えたり、出動できる車両の数を増やしたりすることができるようになります。

市民の期待と信頼に応えられる、より高度な消防サービスを提供できる手段として期待しています。

## 災害時につながる特設公衆電話を整備へ

3月21日、西日本電信電話(NTT西日本)と災害時に避難所で臨時に利用できる特設公衆電話の設置と利用に関する覚書を締結しました。

特設公衆電話は、災害発生時に避難所となる市内の小・中学校の体育館など、44カ所に整備されます。

通話料は無料で、市が電話機を用意し、NTT西日本が発信専用の公衆電話回線を整備します。一般電話や携帯電話よりも優先的に

## 沼北小、久井小、大和小で開校式

先月8日、統合により新設した沼北小学校、久井小学校、大和小学校で開校式を開催しました。開校式では開校宣言、校旗の授与などが行われたほか、児童らが統合前から練習してきた新しい校歌を斉唱し、新たな気持ちで新学年のスタートを切りました。

各校の児童数は、小坂、高坂の2校を統合した沼北小学校が81人、八幡、久井、羽和泉、久井南の4校を統合した久井小学校が210人、神田、神田東、大草、和木、榎梨の5校を統合した大和小学校が234人になりました。

沼北小学校では、校歌の作曲者として紹介された高坂町真良の村尾きみかさんが「友達と心を通わせ、ともに学



▶児童を代表してあいさつした6年生の桃谷真怜さん(沼北小)

び、ともに育ってほしいという願いを込めた。友達と力を合わせ、どんな困難も乗り越えてほしい」と話し、児童らを励ましました。



▶練習してきた新しい校歌を大きな声で斉唱しました(久井小)



▶校歌を作詞した大和町下徳良の福原賢郎さんに感謝状が手渡されました(大和小)

## みはら版『るるるぶ』の配布がスタート

三原の観光情報を掲載した無料の情報誌

つながるため、緊急時に有効な通信手段となります。



▶災害時の有効な通信手段となる特設公衆電話

## 水道部が電気自動車を導入

先月16日、水道部は環境に配慮した自動車の利用に取り組むため、走行中に二酸化炭素などの排出ガスを出さない電気自動車を1台導入しました。公用車に電気自動車を採用するのは今回が初めてです。主に災害時に使用するほか、環境学習やイベントなどでも利用します。

電気自動車はマツダの「デミオEV」で、車体下部にバッテリーを積み、電気でモーターを駆動させて走ります。1回8時間の充電で約200km走るこ



▶災害時の有効活用が期待される電気自動車

とができ、水道部の車両置き場には充電設備も設置しました。ガソリンなどの燃料を必要としないため、災害時に燃料の供給が停止した場合でも、電気が供給されていれば走らせることができます。また、車から一般家庭1日分の電力使用量に当たる電力を供給できるので、緊急時の電源としても活用できます。水道部の庁舎敷地内には太陽光発電設備があり、自前で発電した電力で電気自動車を充電することができます。環境負荷の少ない電気自動車を有効に活用することで、人と環境にやさしい水づくりを一層進めていきます。

報誌「るるるぶFREE増刊号 三原」の配布がスタートしました。



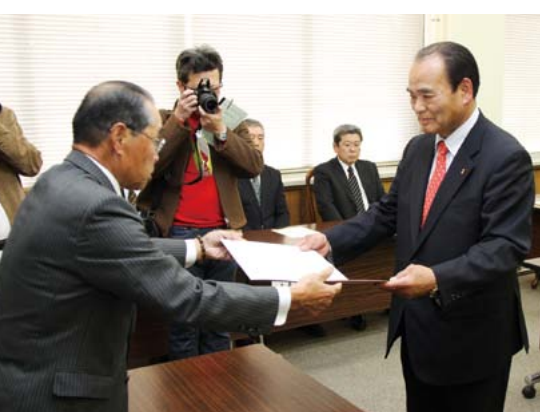
▶市内の飲食店や土産物の情報を掲載したるるるぶFREE

この観光ガイドブックは、近隣他都市の人に、車などを利用して気軽に三原を訪ねてもらおうことを目的に、市がるるるぶFREE編集部に依頼して制作しました。広島市や福山市のショッピングセンター、レンタカー会社などで配布されているほか、市内のホテルや観光案内所などにも置かれています。誌面では、タコ料理を中心とした市内の飲食店やご当地スイーツ店、タコ漁のようすや道の駅「みはら神明の里」も紹介しています。同誌を手にとって、気軽に三原を訪れてくれる人が増えることを期待しています。

## 新市長、新市議会議員を選出

先月7日、任期満了に伴う三原市長選挙と市議会議員一般選挙が告示され、14日に開票が行われました。開票の結果、市長選挙では天満祥典さんが28,975票を獲得して当選し、新しい市長に選ばれました。36人が立候補した市議会議員選挙では、新人10人を含む28人が当選しました。選挙当日の有権者数は80,799人。投票率は市長選挙、市議会議員選挙とも66.46%でした。

天満新市長は15日に市役所で行われた当選証書付与式に出席。選挙長から当選証書を受け取り、「市民の期待に応えられるよう行政サービスを充実させたい」と抱負を述べました。



▶選挙長から当選証書を受け取る天満祥典新市長